

●冬のこの時期にしか見れない生き物を観察するのも面白いですよ。

寒さが厳しくなり、北から冬鳥が飛来する時期になりました。多くの生き物が水辺に集まってきます。また、この時期にしか咲かない花もあります。夏とは違った賑わいを見せる公園をてくてく散歩してみたいはいかがでしょうか。

● 冬に飛来する水鳥たち

■毎年冬になると渡り鳥が飛来します。御所沼やハス池など水辺が多いエリアでよく見かける鳥をご紹介します。



①コガモ

40cmに満たない大きさの小型でかわいらしいカモ。

光沢のある、緑の頭が特徴的なカモ。アヒルの原種。



②マガモ



③オオバン

大きな群れを作り、園内では草地を歩く姿を観察できる。



★…トイレの水道が凍結する恐れがあります。ご注意ください。

氷上を歩く水鳥を観察できるのは、この時期だけ！！

イノシシ出没エリア

水鳥がもつ熱交換システム

冬になると、北風の吹く池の氷の上で片足立ちをして羽を休める水鳥をよく見かけます。寒くないか心配になると思いますが、実は水鳥には隠された秘密があり、寒い冬でも体を暖かく保てる仕組みを持っています。

彼らの足の付け根には、特殊な血管の構造があり、冷たい血液が流れる静脈が、暖かい血液が流れる動脈のまわりに網のように絡みつき、また、その動脈も枝分かれしているため、血液が心臓に届くまでに十分温まり、体温を一定に保つことができるのだそうですよ。

○ 芳醇な香り ロウバイの花

■ロウバイは、この時期ひととき芳醇な香りを漂わせ、半透明で黄色く厚みのある花を咲かせます。花弁が蝋細工のようだというところからこの名がついたといわれています（諸説あります）。



④ロウバイ

公園の敷地内でイノシシが目撃されました！

イノシシに出会ってしまったら、①落ち着いてゆっくり行動、②攻撃や威嚇をしない、③ウリ坊（イノシシの子供）を見ても近づかないようにしてください。もしイノシシを見かけたら管理事務所までご連絡ください。

古河公方公園管理事務所 TEL：0280-47-1129

今月の鳥 「シメ」

スズメ目アトリ科に分類されるシメ。北海道で繁殖し、秋になると本州に渡ります。すずめよりやや大きく、幅のある太いくちばしが特徴です。そのくちばしは力強く、30kg以上もの力を加えることができ、エノキ、カエデ、ムクノキなどの硬い種子を割って中身だけを食べることができます。またくちばしの色がロウソクの蝋(ろう)に似た白色から、「蝋嘴鳥(ろうしようちょう)」とも呼ばれます。



★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga_kubou
- X (旧 Twitter) @kubou_park

Instagramアカウント



X (旧Twitter) アカウント

